



ジ・エイ・エヌ・ティ・オー

JNTO(国際観光振興機構)

<http://www.jnto.go.jp>

平成 20 年 3 月 28 日

理事長 間宮 忠敏

**訪日外客数・出国日本人数 (2008 年 2 月推計値)**

Visitor Arrivals and Japanese Overseas Travelers

2 月：訪日外客数 / 前年同月比 10.3%増の 69 万 7 千人に……P3

**2 月としては過去最高を記録**

2 月：出国日本人数 / 前年同月比 0.7%減の 136 万 8 千人に……P3

2008 年 2 月 推計値

頁/Page

総括表：2008 年 訪日外客数・出国日本人数 …………… 1-2

2008 Visitor Arrivals and Japanese Overseas Travelers

解説：2008 年 2 月 訪日外客数・出国日本人数 …………… 3-9

# 平成20年 訪日外客数・出国日本人数

## 2008 Visitor Arrivals & Japanese Overseas Travelers

国際観光振興機構(JNTO) 調査・情報室  
 Research & Information Office, Japan National Tourist Organization  
 Tel: 03-3216-1905

平成20年3月28日  
 28/Mar/2008

(単位:人 / Unit: Persons)

月 Month	訪日外客数 Visitor Arrivals			出国日本人数 Japanese Overseas Travelers		
	平成19年 2007	平成20年 2008	伸率 Change %	平成19年 2007	平成20年 2008	伸率 Change %
1 Jan.	617,885 (401,624)	*711,800	*15.2	1,407,790	*1,363,000	*-3.2
2 Feb.	631,278 (468,163)	*696,600	*10.3	1,377,670	*1,368,000	*-0.7
3 Mar.	684,654 (452,074)			1,575,478		
4 Apr.	714,014 (517,652)			1,289,713		
5 May	664,489 (462,407)			1,305,574		
6 June	631,874 (456,056)			1,381,922		
7 July	807,737 (621,877)			1,413,231		
8 Aug.	757,473 (566,071)			1,687,050		
9 Sept.	689,183 (459,813)			1,550,601		
10 Oct.	785,207 (550,587)			1,484,102		
11 Nov.	686,747 (476,640)			1,451,116		
12 Dec.	*676,800			*1,374,000		
1~2 Jan.-Feb.	1,249,163 (869,787)	*1,408,400	*12.7	2,785,460	*2,731,000	*-2.0
1~12 Jan.-Dec.	*8,347,300			*17,298,000		

注1: 本資料を引用される際は、出典名を「国際観光振興機構(JNTO)」と明示してください。

注2: 平成19年1~11月は暫定値、\*部分はJNTOが独自に算出した推計値である。

注3: 訪日外客数(確定値・暫定値)は法務省資料を基にJNTOが算出し、出国日本人数(確定値・暫定値)は法務省資料を転記した数値である。

注4: 訪日外客とは、国籍に基づく法務省集計による外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに外国人一時上陸客等を加えた入国外国人旅行者のことである。駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。

注5: ( )内は、総数のうちの観光客数である。

Note 1. If reproduced, your credit line to JAPAN NATIONAL TOURIST ORGANIZATION is mandatory.

Note 2. The figures for Jan. - Nov. 2007 are provisional, while \* stands for the preliminary figures estimated by JNTO.

Note 3. Provisional and definitive figures for Visitor Arrivals are compiled by JNTO (source: Ministry of Justice), and provisional and definitive figures for Japanese Overseas Travelers are provided by the Ministry of Justice.

Note 4. The figures in ( ) represent the number of tourists among the total.

## 2008年2月 訪日外客数 (JNTO推計値)

Visitor Arrivals for Feb. 2008 (Preliminary figures by JNTO)

		総数 Total			総数 Total		
		2007年 2月	2008年 2月	伸率 (%)	2007年 1月～2月	2008年 1月～2月	伸率 (%)
総数	Grand Total	631,278	696,600	10.3	1,249,163	1,408,400	12.7
韓国	South Korea	202,365	234,900	16.1	442,715	506,600	14.4
台湾	Taiwan	126,734	114,100	-10.0	214,587	220,700	2.8
中国	China	75,246	85,100	13.1	138,339	169,300	22.4
香港	Hong Kong	41,251	55,800	35.3	64,481	90,600	40.5
タイ	Thailand	8,175	10,700	30.9	15,423	18,700	21.2
シンガポール	Singapore	8,807	11,700	32.8	13,878	18,300	31.9
豪州	Australia	15,640	20,500	31.1	38,715	50,000	29.1
米国	U.S.A.	48,052	50,000	4.1	102,200	104,100	1.9
カナダ	Canada	12,196	14,000	14.8	26,030	28,000	7.6
英国	United Kingdom	15,941	16,300	2.3	33,061	31,500	-4.7
ドイツ	Germany	8,574	9,400	9.6	16,284	17,700	8.7
フランス	France	8,762	9,200	5.0	17,289	18,600	7.6
その他	Others	59,535	64,900	9.0	126,161	134,300	6.5

注1：本資料を引用される際は、出典名を「国際観光振興機構(JNTO)」と明示してください。

注2：上記の2007年の数値は暫定値、2008年の数値はJNTOが独自に算出した推計値である。

注3：訪日外客とは、国籍に基づく法務省集計による外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに外国人一時上陸客等を加えた入国外国人旅行者のことである。駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。

Note 1. If reproduced, your credit line to JAPAN NATIONAL TOURIST ORGANIZATION is mandatory.

Note 2. Above figures for 2008 stands for the preliminary ones estimated by JNTO.

## 2008年2月 訪日外客数・出国日本人数 推計値

### 【訪日外客数】

2月としては過去最高の69万7千人  
～ 主要7市場で二桁増 ～

2008年2月： 696,600人（前年同月比10.3%増、65,300人増）

2008年1～2月： 1,408,400人（前年同期比12.7%増、159,200人増）

【要因】 好景気、旧正月期間等の訪日旅行需要増、チャーター便の運航、スキー旅行の人気上昇、VJCの宣伝効果などが影響し、訪日旅行が盛況

訪日外客数は、2月としては過去最高の69万7千人となった。韓国、中国、香港、タイ、シンガポール、豪州、カナダ、英国、ドイツ、フランスからの訪日客が過去最高を記録した。なお、台湾からの訪日客は、旧正月の連続休暇が減ったため減少した。

本年2月に影響を与えたプラス要因は、「YOKOSO Japan Weeks」（1月20日～2月29日）のPR活動を始め、ビジット・ジャパン・キャンペーン（VJC）で行った各種広告等の効果に加え、好調な景気（中国、香港、シンガポール、豪州、カナダ）、旧正月・冬休み期間中の訪日旅行需要増（韓国、中国）、チャーター便の運航（韓国、香港）、スキー旅行の人気上昇（豪州、米国）、教育旅行の催行（中国）、旅行ガイドブック発行の効果（フランス）、クルーズ客の訪日（中国、米国、ドイツ）などが挙げられる。

なお、中華圏や韓国などでは、陰暦で設定される旧正月が連続休暇となり、その時期に外国旅行の需要が大きく伸びるため、旧正月が1月になるか2月になるかで、訪日客数は大きく左右される。本年は、昨年（2007年）と同様、2月に旧正月があったため、台湾を除いて2月の前年同月比に大きな変動は生じなかった。

なお、本年2月はうるう年であったため、通年の2月よりも1日多く、その分訪日客数が上乘せされた。

### 【出国日本人数】

2月は、前年同月比0.7%減の136万8千人  
～ 10か月連続の減少 ～

2008年2月： 1,368,000人（前年同月比0.7%減、10,000人減）

2008年1～2月： 2,731,000人（前年同期比2.0%減、54,000人減）

【要因】 円安、20～30代の海外旅行の伸び悩みなどが影響し、出国日本人数が減少

本年2月の為替レートは、米ドルなどに対して円高基調で推移したものの、ユーロ、豪ドルなどに対しては円安基調で推移した。そのため、渡航先によって、現地旅行経費の割安感にばらつきが生じた。

本年2月はうるう年であったため、通年の2月よりも1日多かったにもかかわらず減少した。

一方、パキスタン元首相暗殺とそれに伴う社会不安（2007年12月27日以降）、ケニアの暴動（2007年12月29日～2008年1月）、中国中南部の寒波（2008年1月～2月）、中国製ギョーザ中毒事件（2008年1月～）などは、当該地域への旅行の阻害要因になったと思われる。

また、全般的な傾向として、60代以上の海外旅行は好調であるものの、20代、30代、50代男女の海外旅行が減少傾向を示しており、出国日本人数全体の伸びを押し下げていると思われる。

日本人観光客がノービザで台湾に滞在できる日数が、本年2月1日以降、30日から90日に延長されたことは、プラス要因として挙げられる。

## 【市場別 訪日外客数（推計値）】

### 韓国

VJCの広告効果、旧正月休暇の旅行需要増などにより、過去最高を記録

2月： 234,900人（前年同月比16.1%増、32,500人増）

1～2月： 506,600人（前年同期比14.4%増、63,900人増）

#### [要因]

本年2月の訪日客は、2月としては過去最高を記録した。

ビジット・ジャパン・キャンペーン（VJC）の一環として、韓国の歌手ユンナさん（VJC観光親善大使）を起用して行った映画館での上映前広告（2007年11月中旬～2008年1月中旬）、地下鉄動画モニター広告（2007年11月中旬～2008年1月中旬）、JNTOウェブサイト広告（2007年11月中旬～2008年2月末）などが、訪日旅行意欲を誘発したと考えられる。

2月の為替相場は、韓国ウォンに対し、昨年に比べて円高基調で推移したが、数年前よりもまだ1～2割のウォン高となっており、引き続き、訪日旅行における地上経費に割安感が働いている。加えて、ノービザによる気軽さ、週休2日制の浸透も手伝って、観光地見物、温泉、ショッピング、グルメ、ゴルフ、スキーなどを目的とする観光客が増加している。

本年の旧正月休暇は週末と重なり、5連休（2月6日～10日）となった。昨年の旧正月が3連休であったことから、その分、訪日旅行の需要が増加した。また、本年2月には、韓国から日本各地へチャーター便が多数運航され、訪日客の需要を底上げした。

なお、ユニバーサル・スタジオ・ジャパン（USJ）が韓国人などを対象に、2月中の来場に対して入場料が割引になる「Buy1 Get1 Free！ キャンペーン」を実施したこともプラスに働いた。

注： チャーター便運航（2月）

アジアナ航空が新千歳 ソウル（仁川）間で、大韓航空が福岡 ソウル（仁川）、鹿児島 ソウル（仁川）、那覇 ソウル（仁川）間で、チャーター便を運航した。

<2008年2月の平均為替レート>（出典：三井住友銀行）

100円＝878.66韓国ウォン（前年同月より103.43韓国ウォン安）

### 台湾

旧正月の連続休暇の減少により、訪日客が1割減

2月： 114,100人（前年同月比10.0%減、12,600人減）

1～2月： 220,700人（前年同期比2.8%増、6,100人増）

#### [要因]

昨年の旧正月休暇は9連休（2月17日～25日）であったが、本年は6連休（2月6日～11日）にとどまったため、その分の旅行需要が減少した。

また、台湾では例年、学校の冬休み期間中に、訪日家族旅行の需要が高まる傾向にある。昨年（2007年）の冬休みは1月下旬に始まったが、本年の冬休みは1月

中旬に始まったため、訪日家族旅行の需要が、昨年比べて1月により大きく傾いたことが、2月の訪日客減につながった。

更に、旧正月休暇期間の訪日ツアー料金が高めに設定されたため、消費者から敬遠されたことが挙げられる。

注：台湾の春節（旧正月）と学校の冬休み期間

春節は旧暦によって毎年変動し、本年は2月7日、前年（2007年）は2月18日が春節であった。台湾の学校の冬休みは春節に合わせて設定され、本年の冬休みは1月19日～2月11日、2007年の冬休みは1月27日～2月22日であった。

## 中国

### 家族旅行、教育旅行の需要が増加し、初の8万人台に

2月： 85,100人（前年同月比13.1%増、9,900人増）

1～2月： 169,300人（前年同期比22.4%増、31,000人増）

#### [要因]

本年2月の訪日客は、2月としては初の8万人台を記録した。経済が好調で購買力が高まり、株高、不動産価格の上昇も続いており、外国旅行に出かけられる層が拡大しつつある。

本年は昨年以上に、ツアー料金が値上がりする旧正月休暇期間を避け、休暇をずらして訪日旅行に出掛ける傾向が見られた。これにより、航空座席需要が時期的に分散化され、結果として本年1月、2月の訪日客増につながった。

また、学校の冬休み期間（1月～2月）には、北京・天津地域で訪日教育旅行が催行され、約1,500人が訪日した。

更に、クルーズ船「ラブソディー・オブ・ザ・シーズ」が2月10日に那覇に寄港し、沖縄本島を旅行した。乗客のうちの約1,000人が中国人観光客であった。

なお、中国では例年、学校の冬休み期間中に、訪日家族旅行の需要が高まる傾向にある。昨年（2007年）の冬休みは1月下旬に始まったが、本年の冬休みは1月中旬に始まったため、訪日家族旅行の需要が、昨年比べて1月により大きく傾き、2月の訪日客の伸びに影響を与えた。

注：中国の春節（旧正月）と学校の冬休み期間

春節は旧暦によって毎年変動し、本年は2月7日、前年（2007年）は2月18日が春節で、この日から3日間が法定休暇となった。中国の学校の冬休みは春節に合わせて設定され、本年の冬休みは1月中旬から、2007年の冬休みは1月下旬から始まった。

## 香港

### VJCの広告効果、好調な景気、航空便の拡充などにより大幅増

2月： 55,800人（前年同月比35.3%増、14,500人増）

1～2月： 90,600人（前年同期比40.5%増、26,100人増）

#### [要因]

ビジット・ジャパン・キャンペーン（VJC）の一環として、香港のタレント、フィオナ・シッさん（VJC観光親善大使）を起用して行った、新聞・雑誌での冬季訪日旅行ツアー広告（2007年11月、12月）、JNTO中国語繁体字ウェブサイトでの

訪日旅行プレゼントキャンペーン（2007年12月中旬～2008年1月末）などが、訪日旅行意欲を誘発したと考えられる。

加えて、好調な景気、香港から日本各地への定期航空便の拡充（2007年10月末）なども手伝い、訪日需要が増大した。

また、本年2月に、香港から日本各地へチャーター便が多数運航されたため、そのうちの一部のチャーター便を利用した訪日ツアー料金が安くなり、訪日客の増加を底上げした。

注： 香港から日本へ運航されたチャーター便（2月）

日本航空：新千歳（8便）、成田（5便）、羽田（4便）

全日空：関西（2便）

香港航空と香港エクスプレス（香港快運航空）：福島（14便）、広島（2便）、北九州（4便）、鹿児島（8便）、那覇（8便）

キャセイパシフィック航空と香港ドラゴン航空：新千歳（21便）、仙台（3便）、成田（5便）、関西（13便）

## 米国

### 閑散期の需要喚起策などが奏功し、訪日客が増加

2月： 50,000人（前年同月比4.1%増、1,900人増）

1～2月： 104,100人（前年同期比1.9%増、1,900人増）

#### [要因]

閑散期に訪日旅行の需要を喚起するため、ビジット・ジャパン・キャンペーン(VJC)の一環として JNTO が京都市と連携して取り組んできたキャンペーンが効果を上げた。

また、東京マラソンの開催（2月17日）、訪日スキーツアーの催行により、それぞれ数百人単位の訪日需要が生じた。

更に、昨年2月にはなかったクルーズ船の入港が、本年2月には複数あり、この需要で1,000人単位の米国人観光客が訪日した。

加えて、本年2月はうるう年であったため、通年の2月よりも1日多く、その分訪日客数が上乘せされた。

なお、サブプライムローン（信用力の低い個人向け住宅融資）問題の影響で、米国の景気は依然低迷しており、レジャー消費、外国旅行の手控えに影響を及ぼすことが懸念されている。

注： 閑散期の訪日旅行の需要喚起対策

JNTOでは、閑散期の訪日旅行の需要を高めるため、冬の京都への旅行者を誘致することを目指し、冬の魅力やお得な旅行情報を提供するキャンペーン「京都ウィンタースペシャル2008」を実施している。大手検索サイトや有力旅行雑誌などで紹介され、人気を博している。

注： 日本に寄港したクルーズ船（2月）

「エムエス・ドイチュラント」： ドイツ船籍、2月2日に那覇へ寄港

「ラブソディー・オブ・ザ・シーズ」： 米国船籍、2月10日に那覇へ寄港

「セブンシーズ・ボイジャー」： 米国船籍、2月24日に大阪へ寄港

「シルバー・シャドー」： 米国船籍、2月26日に那覇へ寄港

<2008年2月の平均為替レート>（出典：三井住友銀行）

1米ドル=107.24円（前年同月より13.32円高）

## 欧州

### 割引航空運賃の流通、旅行ガイドブック発行等により、訪日客が増加

< 英国 >	2月:	16,300人(前年同月比2.3%増、400人増)
	1~2月:	31,500人(前年同期比4.7%減、1,600人減)
< ドイツ >	2月:	9,400人(前年同月比9.6%増、800人増)
	1~2月:	17,700人(前年同期比8.7%増、1,400人増)
< フランス >	2月:	9,200人(前年同月比5.0%増、400人増)
	1~2月:	18,600人(前年同期比7.6%増、1,300人増)

#### [要因]

英国、ドイツ、フランスからの訪日客数は、2月としては過去最高を記録した。本年2月の為替相場は円安ユーロ高基調を維持し、また、数年前と比べても1~2割のユーロ高であったため、引き続き訪日旅行に割安感が働いた。

また、本年2月はうるう年であったため、通年の2月よりも1日多く、その分訪日客数が上乗せされた。

ドイツでは、日独路線を対象に冬季の割引航空運賃が流通しており、これも訪日観光の需要喚起につながっている。また、ドイツのクルーズ船「エムエス・ドイチュラント」が2月2日に那覇に寄港し、300人以上のドイツ人観光客が沖縄本島を旅行した。

フランスでは、「ロンリー・プラネット」、「ミシュラン」などのフランス語版日本旅行ガイドブックが近年相次いで発行され、訪日客の増加にプラスに働いている。なお、2007年11月には、レストランガイドブックである「ミシュランガイド東京」が発売され、東京が世界で最も多く星が付いたレストランのある都市として、世界中で話題を呼んだ。

注：日独間の冬季航空運賃の割引価格

ルフトハンザ航空が2007年11月16日から2008年2月15日まで、ドイツから日本各地への割引運賃を設定した。

< 2008年2月の平均為替レート > (出典：三井住友銀行)

1ユーロ = 158.17円 (前年同月より0.51円安)

## その他 VJC 市場

好調な経済、VJC の宣伝効果、スキー旅行の人気上昇などを背景として、タイ、シンガポール、豪州が 3 割増

<タイ>	2月:	10,700人(前年同月比30.9%増、2,500人増)
	1~2月:	18,700人(前年同期比21.2%増、3,300人増)
<シンガポール>	2月:	11,700人(前年同月比32.8%増、2,900人増)
	1~2月:	18,300人(前年同期比31.9%増、4,400人増)
<豪州>	2月:	20,500人(前年同月比31.1%増、4,900人増)
	1~2月:	50,000人(前年同期比29.1%増、11,300人増)
<カナダ>	2月:	14,000人(前年同月比14.8%増、1,800人増)
	1~2月:	28,000人(前年同期比7.6%増、2,000人増)

### [要因]

本年2月のタイ、シンガポール、豪州、カナダからの訪日客は、2月としては過去最高を記録した。

タイでは、女優のティックさん(VJC観光親善大使)が出演している日本観光紹介テレビ番組に加え、新たに同様のテレビ番組が放映され、また、主要タイ語新聞5紙で訪日旅行の広告も掲載されたため、訪日旅行の需要喚起につながった。更に、新規訪日ツアーも催行されており、訪日旅行にプラスに作用した。

シンガポールでは、好調な経済を背景に全般的に所得が向上し、日本など外国旅行の需要増につながっている。また、本年2月に実施した新聞、バス停看板などへの訪日旅行の広告掲載や、旅行会社の新規訪日ツアーの催行なども、訪日客の伸びを大きく押し上げる要因となった。

豪州では、好調な経済を背景に外国旅行熱が高まっており、訪日旅行にとっても追い風となっている。また、JNTOがビジット・ジャパン・キャンペーン(VJC)事業の一環として豪州で行った、一般紙での宣伝活動の効果や、ニセコ、富良野、白馬、志賀高原などへの訪日スキー旅行の需要の増加などが、大幅な訪日客増を導いたと考えられる。

カナダでは、ビジット・ジャパン・キャンペーン(VJC)事業の一環として、昨年秋から実施している訪日低価格ツアー、日本経由ツアーの開発が効果を上げている。また、堅調なカナダ経済、カナダ系航空会社による航空座席供給量の増加なども、訪日旅行にとってプラスに作用した。

注： タイにおける日本旅行に特化したテレビ番組

2007年11月から2008年1月まで、日本の旅行情報を提供するテレビ番組「Discover Japan」が、毎週土曜日夜に30分間放映された。レポーターはタイ語を話す日本人であった。

注： 日加間の航空座席供給量の増加(2月)

エア・カナダが2008年2月以降、成田 トロント間の航空機材を変更したため、航空座席が1か月当たり約1,000席増加した。

事業開発部  
調査統計グループ  
電話：03-3216-1905